

重点化事業を再編

インフラ保全など照準

オリコンサルHD

など5事業6件を推進する。

21年9月期の見通しは連結ベースで売上高635億円（20年9月期628億80百万円）、営業利益27億50百万円（27億7百万円）に設定。いずれも過去最高を予想する。うち国内で417億円（413億99百万円）、海外218億円（214億81百万円）を稼ぐ。

新型コロナウイルスの影響で事業環境が見通せない中、野崎社長は「重点化事業を着実に推進しなければ中長期的な成長はない」とコメント。国内で受注量を積み上げながら海外は成長分野で安定的な事業量確保に努める考えを示した。経営計画の目標である25年9月期に売上高700億円、営業利益30億円を目指す。

オリエンタルコンサルタ
ンツホールディングス（H
D）の野崎秀則社長は、27
日に東京都内で開いた20
20年9月期の決算説明会
で今後の経営戦略を明らか
にした。国内外で注力する
重点化事業を従来の5事業

から10事業に再編。事業量
が豊富な国内はインフラの
整備・保全業務などで受注
を積み上げる。海外は鉄道
の保守や点検業務に照準を
合わせる。25年が目標とな
る中期経営計画の達成に向
け、攻めの姿勢を貫く。

を含む水系インフラの2項
目を追加。発注量が旺盛な
国土強靱化関連をターゲット
にグループ全体で5事業
96件の受注を目指す。海外
はスマートシティー開発や
鉄道の維持管理業務、BI
M（ビルディング・インフ
ォメーション・モデリング）

オリコンサルHDが掲げ
る重点化事業は▽インフラ
整備・保全▽防災▽交通▽
地方創生▽海外新規開拓
の5項目。国内外のターゲ
ットを明確にし、さらなる
収益アップを狙い見直し
た。

国内は従来の防災や交通
などに加え、道路系と河川